

『見ちゃいない』 作：ポチ子

『見ちゃいない』 作：ポチ子

何かに追われている気がして、

必死に逃げた。

走って、走って、

追いつかれないように必死だった。

だんだん逃げているのも不安になって、

思い切って振り返る。

後ろには何もなかった。

追いかけてくる殺人鬼も、

よだれを溢した怪物も。

どこにもいなかった。

立ち止まる私の横を、皆が通り過ぎる。

そうか。

そうだよな。

皆、ちゃんと前に進んでるんだもんな。

逃げている奴なんか見ちゃいない。

私のことなんて、

誰も。